

ワークライフバランス

従業員が仕事とプライベートを両立し、能力を最大限に発揮できるよう「働きやすい職場環境づくり」に努めています。育児・介護休業制度などによる子育て世代・親族への支援に加え、月2回の「ノー残業デー」の遵守徹底や、各種制度の整備・拡充に努め、ワークライフバランスの向上に取り組んでいます。

制度の利用状況(育児・介護／有給休暇)および残業時間

		2021年度		2022年度		2023年度	
		単体	国内GR	単体	国内GR	単体	国内GR
育児休業取得率(%)	男性	11.1	—	41.2	—	28.5	—
	女性	100	—	100	—	100	—
平均年間有給休暇取得日数(日)*1		12.4	11.1	14.4	11.8	14.0	12.8
有給休暇取得率*1・2(%)		67.6	47.1	73.3	55.9	73.6	57.0
月平均残業時間数*1(1人当たりの時間)		5.0	7.6	4.0	7.3	4.0	7.0

※各社の臨時従業員(パートなど)は除く ※国内GR：国内グループ
*1 三重ナルミ(株)を含めた上で再算定 *2 年間の発生日数に対する取得日の比率

育児・介護に関わる休暇・休業制度

育児休業 (および育児 短時間勤務) 制度	1歳未満の子を育児する者を対象とした休業制度(1年半、2年に延長可能)
	3歳未満の子を養育する者に対する育児短時間勤務制度(原則6時間に時短)
	小学校3年生終了時までの子を養育する者に対する育児短時間勤務制度(原則6時間に時短)
子の看護 休暇制度	小学校就学前の子を看護する者に対する休暇制度(年次有給休暇とは別に5日／年・1人 10日／年・2人以上、時間単位の取得可能)
介護休業 (および休暇) 制度	要介護状態にある家族等を介護する者に対する休業制度(被介護者1人につき要介護状態に到るごとに通算93日)
	上記の同者に対する休暇制度(年次有給休暇とは別に5日／年・1人 10日／年・2人以上、時間単位の取得可能)

健康経営

健康増進の取り組み

当社は、従業員と家族の健康維持・増進のため、石塚硝子健康保険組合が中心となって疾病予防強化に取り組んでいます。2023年度は、過去3年間、健康診断を受けていない従業員の家族を対象に乳酸菌ドリンクの宅配を2週間実施し、当年度の健康診断を受診してもらいました。また、従業員と家族の健康意識向上のため、健保ホームページや健保専用LINEを通じて配信している運動や睡眠・食生活改善の動画内容の拡充と質の向上を図りました。これにより、自宅でも動画を見ながら家族と一緒に気軽に運動ができるようになりました。今後も家族を含めた健康サポートを強化していきます。

特定検診および特定保健指導実施率 (%)				
	目標値	2021年度	2022年度	2023年度
特定健診受診率	90%以上	97.8	98.8	97.6
特定保健指導実施率	55%以上	95.1	92.1	87.8

※2023年度は鳴海製陶健康保険組合と合併後の数値

メンタルヘルスの取り組み

当社は年1回ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの結果は職場集団分析を行い、懸念が示された部門には注意喚起を継続的にを行っています。分析結果の数値は良性傾向にあり、懸念のある部門はごくわずかです。また、すべての従業員が利用できる外部機関と連携した「こころの健康相談窓口」を設置し、専門家によるカウンセリングを電話または面接で相談できる環境を整備しています。鳴海製陶(株)では、2022年度から精神科医を産業医に選任し、必要に応じてメンタル不調者との面談や継続的な助言を受けられるようになりました。

グループ会社の取り組み

鳴海製陶(株)

2023年度は、定期健康診断時に腹部エコー検査を導入し、健診内容のレベルアップを図りました。その他、従業員の健康維持・増進を図るための各種活動に取り組み、前年度に続き、健康経営優良法人(中小規模法人部門)の認定を受けました。また、愛知県健康経営推進企業に登録しており、従業員の健康のため、運動機会の促進や感染症予防、従業員および配偶者への受診勧奨など、継続的な取り組みを行っています。

石塚王子ペーパーパッケージング(株)

2021年4月より従業員の福利厚生の一環として、冷凍食品の社食サービスを導入しました。導入前は、交替勤務の特に夜勤者がインスタント食品を食べていることが多く、栄養の偏りに懸念がありました。社食では栄養バランスを考えた30品種の冷凍食品があり、大変好評です。従業員の健康を考え、今後さらに充実させていきます。

日本機械金型(株)

2023年度は、健診および検診に関する事項を中心に充実を図りました。メンタルヘルスの取り組みでは、社長宛に直に投稿できる無記名方式の投書箱を設置し、従業員の要望を吸い上げる仕組みをつくりました。これらの取り組みにより、健康経営優良法人(中小規模法人部門)2024に認定されました。

【2023年度のおもな取り組み】

- ・定期健康診断の項目追加と付加検診の導入
- ・婦人科検診の時間内受診を認め、検診費用を全額会社負担
- ・喫煙者の禁煙サポートで禁煙外来費用の全額会社負担

労働安全衛生

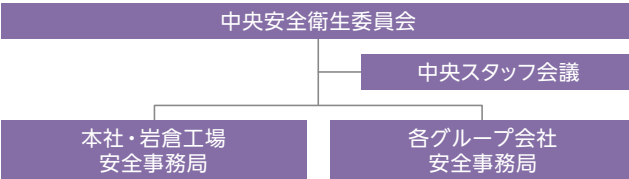
基本的な考え方

当社グループでは、すべての従業員が安全で健康的に働けるよう労働災害のない職場環境づくりに努めています。ISO45001に則り、安全基本行動の徹底はもちろんのこと、リスクアセスメントを行うことで潜在的なリスクを洗い出し、リスクを低減して労働災害の未然防止に取り組んでいます。

安全衛生管理体制

当社グループは、執行役員が委員長を務める中央安全衛生委員会の下、各工場およびグループ会社が主体的に活動を展開しています。中央安全衛生委員会は各工場およびグループ会社の安全責任者が参加し、年2回開催されます。テーマは半期ごとの災害状況の確認・分析、各工場・グループ会社の取り組みを確認しています。各工場・グループ会社の取り組みは、安全事務局で構成される中央スタッフ会議(年2回開催)であらかじめ取りまとめ、中央安全衛生委員会に報告しています。

安全衛生管理体制



労働災害防止の取り組み

職場の安全化に向け、リスクアセスメントに力を入れ、危険源の抽出を的確にするための評価シートの改訂やリスク評価の適正化教育などを実施し、リスクアセスメントの的確な運用により職場のリスク低減に取り組んでいます。その一例として、一部の騒音職場では、火災報知装置に視認性の高い装置を設置し、火災時の早期対応を図る状態にしています。岩倉工場では、協力会社との安全衛生委員会の相互交流や協働での安全パトロールを行うなど、職域を越えた活動を継続実施して危険個所の抽出と改善により、事故防止に努めています。

労働災害発生状況

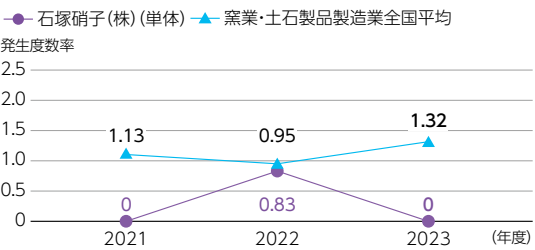
2023年度は当社および国内グループ会社で9件の労働災害が発生しました。国内グループは前年度より6件減少し、当社は無災害を達成しました。発生災害については、各発生事業所の安全衛生委員会で原因究明と再発防止、中央安全衛生委員会

や中央スタッフ会議を通じた災害傾向や原因分析などの情報交換を行いながら、国内グループ全体で連携して労働災害撲滅を目指して取り組んでいます。

労働災害発生件数 (件)

	2021年度		2022年度		2023年度	
	休業災害	不休業災害	休業災害	不休業災害	休業災害	不休業災害
単体	0	1	1	3	0	0
国内グループ	2	3	2	9	3	6
合計	2	4	3	12	3	6

休業災害発生度数率



安全教育

当社は、労働災害を未然に防止するため以下の4項目について教育を行っています。フォークリフト作業者安全運転講習は外部講師による安全講習会を開催し、運転手に加え作業者也参加対象とし、安全啓発を行いました。また、地元労働基準協会主催の各種講習会、外部講師を招いて実施する研修会など、講習・研修への参加を通して作業者の安全衛生意識、専門知識の向上を図っています。

1 新入社員安全教育

2 防災訓練

3 フォークリフト作業者安全運転講習

4 粉じん作業者教育

防災訓練(救護訓練)

グループ会社の取り組み

石塚王子ペーパーパッケージング(株)

労働災害発生に至る要因の一つとして、作業者の心理的な要因が大きく影響しており、過去の災害事例を基に心理的分析をした結果、①思い込み②急ぎ③面倒④錯覚の順に多く災害につながっていることを確認しました。急ぎ・面倒は、作業方法の見直し対策でカバーできる部分があり、思い込み・錯覚は、作業者の冷静な判断と指差し確認で確実に安全を守るしかないと考え、安全の三原則である、機械を停める・ルールを守る・確認をすることについて再度周知しました。今後は心理的な面を考慮した安全活動を展開していきます。